

# ほんま進 vol.17 県議会だより

ご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

ほんま進 事務所

〒260-0824千葉県千葉市中央区浜野町1408

TEL.043-268-1100 FAX.043-263-9568

URL http://www.honmajp/ E-mail s-honma@mbnifty.com



## 第10回千葉県議会議員 定数等検討委員会開催

平成27年9月定例県議会 会期中の10月7日に、各会派代表者会議が開催され、「千葉県議会議員定数等検討委員会」の設置が決定されました。

同検討委員会は、平成31年4月に予定されている県議会議員の改選に向け、県議会議員の定数等の総合調整を図ることを目的として、各会派から推薦された15人の議員で構成されています。

第1回の検討委員会は10月22日の9月定例県議会閉会後に開催され、委員長及び副委員長が、それぞれ選任されました。

委員会では、本県の現状と課題を踏まえ、県議会において、県民皆さまの様々な意見が反映できるよう、より活発なかつ慎重な議論がなされることを期待しています。

補正額44億3,046万余円増額  
補正後の  
予算額 **1兆7,140億713万余円**

9月定例県議会が9月25日招集され、10月22日閉会しました。今回、提出されました案件は、平成27年度の補正予算案、各種条例案、その他附帯議案21議案のほか、報告3件並びに平成26年度の決算認定についてでした。主なものとしては、平成27年度一般会計の補正予算案です。補正額は44億3,046万余円の増額で、補正後の予算額は、1兆7,140億7,133万余円となります。



## 航空機騒音は切実な問題 関係市町との連携で更なる騒音負担軽減を要望

前号に引き続き、羽田空港の航空機騒音について、総合企画水道常任委員会において質問しました。

【ほんま進】  
羽田空港の機能強化策として、都心上空ルート案については、新聞等でも報道され、本県への影響がどうなるのかについて、県民も大きな関心を持っています。県からは、これまで、国に対して首都圏全体の騒音分担を求めていると聞いています。都心上空ルート案が、本県の騒音負担の軽減につながるのであれば、これを果たすべく考えられます。

そこで、お伺いしますが、都心上空ルート案によって首都圏での騒音分担が実現する可能性はどうか、お伺いしたいです。

【ほんま進】  
「首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会」において、国では、2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに、都心上空ルートを含む空港機能の強化を実現したいと考えています。本県としても、都心上空ルート案の実現が、本県が従来から求めてきた首都圏全体の騒音分担につながるものと考えており、本県が一手に引き受けている羽田空港の航空機騒音を首都圏で分散化するように、国に対して引き続き強く求めていきたいと考えております。

【ほんま進】  
都心上空ルート案については、県としても、首都圏全体での騒音分担につながるの一定の評価をしていますが、これは分りませんでした。しかしながら、羽田空港の騒音影響を受けている県民は、実際のどの程度騒音が軽減されるのか、具体的な内容を早く知りたいという

う大きな声が高まっている。そこで、お伺いしますが、都心上空ルートによる騒音分担が実現した場合、本県の騒音軽減されることとなるのか、お伺いしたいです。

【ほんま進】  
空港地域振興課長より  
国からの提案では、南風の15時から19時のうち3時間については、現在、南風好天時の千葉市上空、あるいは南風悪天候時の市川市松戸市上空などを通過して上空を通過することになるものとされています。この部分につきましても、本県の騒音軽減が図れるものと期待をしております。

【ほんま進】  
一方、これ以外の時間帯がどのようなものか、例えば北風時の木更津上空の通過便数、あるいはさらさら都心上空ルートとなる浦安、市川への影響など、運用についての詳細が今のところ示されておらず、全体として本県の騒音影響がどうなるのかについて、明らかになっておりません。

【ほんま進】  
このため、先日開催されました「羽田空港機能強化に関する連絡調整部会」におきまして、本県及び関係市から速やかに詳細を明らかにするよう国に求めたところであります。

【ほんま進】  
国に対して、運用についての具体的な情報を求め、対応しているというところは分りませんでした。

【ほんま進要望】  
南風好天時に北側ルートの更なる高度引き上げなど、騒音軽減に向けた方策の検討を早急に行うよう国に働きかけていくことは分りました。

【ほんま進】  
羽田空港の機能強化については、私は昨日、全国議会議長会国土交通委員会において、国土交通省の小林参事官に



対し要望しました。国土交通省の新たな5年計画で「賢く使う」という案がありまして、そこで空港の飛行経路を見直し、現在のインフラを賢く使い、2020年までに羽田・成田両空港の処理能力の約8万回拡大に取り組むという説明がありました。

そこで私は、全て本県上空を通過だけではなく、やはりしっかりと東京ルートといった他県に分担できることをお願いしたい。これは国土交通省においても金がかかるわけではなく、ルート変更するだけである。今は全て千葉県に求めているのだというところを、発言しました。

そこで一点、要望します。本県の住民にとって、航空機による騒音は、切実な問題である。都心上空ルートによる首都圏全体の騒音分担も含め、本県の更なる騒音負担の軽減に向けて、関係する市町村と連携をとって、しっかりと対応していただきたいと思